



### 〈サロン・あべの〉12月の出会い

平成21年12月5日(土)〈サロン・あべの〉12月の出会いは、地下鉄長居駅近くのSURAJ(スラジュ)において開催しました。

この日は、各自カレーの辛さ

(甘口・普通・中辛・辛口・激辛の5段階)を選び、お好みのランチコースを楽しまました。

まず、スープとサラダが配られます。そして、メインのカレーと大きなナンとタンドリーチキン、サブランチです。

店内はインドの音楽や映像が流れ、像を描いた画が飾られ、インドの雰囲気を感じていきます。お料理が進む中、テーブルでは、参加者同士で和やかに近況や自己紹介など話にぎやかに弾んでいきました。メインの料理の

後、デザートにマンゴークル

ファイ(アイス)とドリンクのマッサージ(アイス)とドリンクのマッサージには、今日の感想や今年1年を振り返ってなどを自由に書いていただきました。

今日はヘルパーの木村さんの

支えがあって、久しぶりに、サロンの食事会に参加しました。ごちそうさまでした。

今年1年、サロン紙の「寄りみち」欄に「童謡・絵はがき」の話を書いてきました。来年も引き続き、読む人に「ハーキ」「ヘー」「ホー」というてもらえるものを書くよう、精いっぱい努力します。

カレーの辛さは中辛にして、



少し辛くておいしかったです。

日本にいてチャイも飲むことができました。タイでもチャイを飲んだような記憶があるような。

プライベートでは、今年3月よりFX(外国為替証拠金取引)を始めました。結構、損をする人が多いといわれているのに、今のところ、まあまあで、確定申告で税金をたくさん払わないといけないくらいです。来年もFX頑張ります。

(石)さんのお手伝いで〈サロン・あべの〉さんの活動日に、2回参加させていただきました。

地域のいろんな人たちとの出合いを大切に、楽しい会をいつも開いておられ、仕事であることも忘れ、私自身、楽しく過ごさせていただきました。

初めてのインド料理にわくわ



く気分に参加しました。店内は動きのあるインド象や、サイヤトラなどの置物が飾られていて、大型テレビにはインド舞踊が繰り広げられていました。

お料理は見当がつかないので、レディス定食を頼みました。カレーの辛さも普通にして、サフランライスやナンに浸けていただき、完食。ちょっと用心しすぎたかも…。

次回は本場の辛味を知りたいものです。

富田慶子

早いもの

で、今年2009年も終わります。今年もサロンの忘年会に参加させていただきました。1年で、ほんとうに早いです。来年

お知らせ

<サロン・あべの>2月の出会い

内容…動く折り紙  
- 折り紙万華鏡とまわるこま、カラス、ほか -  
お客さん…米村金治さん  
会費…なし  
日時…2月20日(土) 午後1時~4時  
会場…育徳コミュニティーセンター2階 研修室(スロープ・車いすトイレ有)  
大阪市阿倍野区阪南町5-15-28  
TEL 06-6621-1901  
最寄り駅= 地下鉄御堂筋線「西田辺」(エレベーター有) 下車すぐ  
問い合わせ先…  
TEL 06-6691-1028 (富田慶子)

も、サロンの忘年会に参加させていただきます。 倭 栄司

○

山村 貴司

インドの本場のカレーと大きなナンを食べて、お腹いっぱいになりました。普段は食べない料理をいただいて、参加した方と楽しい時間を過ごすことができました。

今年1年、あつという間でし た。(参加者6名 山村貴司)

60



## 邦子、 ..ん歳の手習い。

### 大阪の障害者自立生活運動

昨年は、夫の永眠10周年記念会を宝塚教会で無事に終えることができ、一つの区切りでもありホッとしています。障害者の夫との生活は20年間でした。その間、私の生活は夫の介護と家事などの忙しい毎日でしたが、今考えてみると、充実した日々だったような気がします。今は、社会人学生として、主に夫が関わってきたところの大阪の障害者自立生活運動について勉強しています。10年前は、障害者に関する制度改革が始まる前でした。その後、障害者支援費制度から障害者自立支援法へと制度はめまぐるしく変わっていきました。しかし、私は10年前までの障害者の問題や状

況は障害者家族として、体験していましたが、その後の状況というのは、文字で読むぐらいで、実際には分かりませんでした。

昨年末に、障大連(=障害者の自立と完全参加をめざす大阪連絡会議)事務局の細井清和さんにお話を聞く機会があり、現在の障害者の置かれている状況を少し知ることができました。細井さんは、以前、大阪青い芝の会で自立障害者の介助をしながら、支援をしていました。大阪では、1981年の国際障害者年を契機に国障年連絡会議ができました。それができた時は、小さな連絡会で、年に1〜2回ぐらいの交流会や単発の行政交渉をするような組織でした。それは、障害者だけではなく、自治労や日教組などの組合や親の会が世話人のような形で引つ張っていくような連絡会でした。

しかし、障害者自身が中心になって活動を進めていくことが大切ではないかということが考えられ、障害当事者を中心とする会に変化していったのが1984年ごろでした。そのころから、会では、年間の活動計画を立て直して、年に2回のセミナーを開き、自立や施設などの障害者問題をどう考えていくか、統一した考え方をもちょうにしていくこととしました。そして、そのセミナーを通じて、作業所などにも参加してもらおうように広く働きかけていきながら、多くの障害者団体を集めていきました。そして、

障害者中心の組織として組み立て始めて、行政交渉や協議を府や市に対して定期的に行っている団体である障害当事者のための障大連へと変わっていきました。

細井さんが、障大連に関わり始めたのはそのころからです。細井さんは、もともと大阪青い芝の会で活動していたところに、障害者の自立に対して介護を含めて何の公的な支援もない中で、全身性障害者介護人派遣事業を大阪市との交渉により作っていき、障害者が自立するためのケアシステムをみんなで作っていったという経緯をもっています。しかし、大阪青い芝の会では、ほとんどが身体障害者に対する課題に取り組んでいました。国障年連絡会議では、知的障害者の関係の方々との交流を通じて、身体と知的の両方の問題を合致させて取り組むようになり、作業所と生活の場と行政交渉という中で、障害者の大きな問題に取り組んでいくこととなりました。細井さんは、「それが、障大連の基本的な出発点となりました」と語ってくれました。

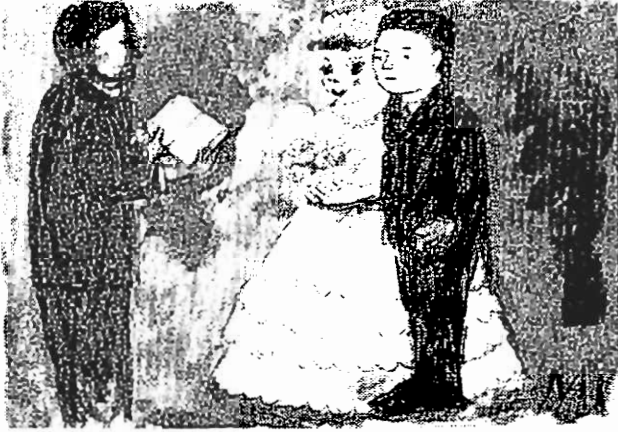
現在、障大連では、障害種別を問わず、すべての障害者の自立、社会参加の実現をめざし、83の加盟団体の活動交流や活動支援を行っています。障大連には細井さんを含め、4人の常勤の職員(障害者2名と健常者2名)がおり、フル活動で忙しく働いておられます。

(定藤邦子)

## 未来の結婚

ときどき若い人とか子どもたちが、両手にもってゲームをしているでしょ。電車のなかで夢中になっている人がいますね。私と同じくらいの年配の人もゴルフのゲームなんかしていましたよ。

いえね、そんなゲームだったら、まだいい



んです。私なんかは、もうそんな年ではないのでやったことはないのですが、若い男の子たちがのめりこんでやっているのが、ゲームのなかの女の子たちとデートするゲームなんですってね。

そんなこと、珍しいこともないだろうって？ さあ、それなんですよ。そう思うでしょ。ところがですね、ある男性がその女性の一人と結婚することになったんです。

なんですか？ その女性って誰だったって？ そりゃあ、ゲームのなかの女の子に決まっていますじゃないですか。もちろん生きた人間ではありませんよ。ゲームのなかの女の子です。キャラクターっていうんですか、そういうものなんですな。

それで結婚式をあげてですね、新婚旅行はグアムだったそうです。結婚式も家族や友人を招いて、牧師らしい人まで呼んだ本格的なもので、その様子はビデオで撮られて現にインターネットで放映されているんです。

さあ、そこまではいいんですよ。どうせ大学生あたりが冗談でやっているんだろうと、私なんかも、そう思ったわけですよ。

ところが、ここからがちょっと難しいところなんです。あるジャーナリストがそれを取材していたらしくてですね。その人によれば、その男性は本当に本気なのだということです。

たとえば、家族よりも車を愛しているような風変わりな男性はいるだろう。それと同じように、ゲームのなかの女性を現実の女性と同じように愛する男性が現れても不思議ではないし、むしろいままで現れなかったのが不思議だった。この男性は、こういう愛の形もあるということを人類で最初に示した勇氣ある人だったと、まあ、そのジャーナリストもそこまでは書いていなかったように思うのですが、私の解釈はそうだったわけですね。

たとえば、男どうし、女どうしの同性の結婚なんて昔は冗談にもならなかったわけですが、いまではそれを認める社会も出てきたわけですよ。だったら、ゲームのなかの女性との結婚も認めたらどうだというわけです。

私はこの事件、といったら変かもしれませんが、このニュースについて詳しいことは知

りません。ちよつとインターネットで短い記事を読んだだけなんです。私の言いたいことは、この事件で出てきた男性が本気だったかどうかは別に、将来、本当に真剣にゲームのなかの女性と結婚したいという男性が出てきたときに、私たちはどうすればいいかということなんです。

「いや、そんなことは個人の自由だ」とお考えですか。あなたの息子さんや弟さんが、同じことをしようとしても、あなたが認められるのなら、そういうご意見であることを私は認めたいと思います。なぜって、どうでもいい他人のことは何でも「それは個人の自由だろう」と片付けてしまいがちですからね。では、許せないと思いますか。本人(たちは、とつても幸せなんですけどね。その幸せを奪ってまでも反対しますか。

あなたは笑っていらつしやる。私が冗談を言っていると思つていらつしやるんですよ。

でも、どうでしょう。ひと昔のスーパーコンピュータよりも、いま誰もがもっているパソコンは性能がいらいらしいですよ。あともう少しすれば、これはきつと冗談ではなくなると思うのですよ。

(知)

## 声で読書のお手伝い

### 音訳テープのご案内

音訳グループ「糸でんわ」のご協力で(サロン・あべの)紙第282号の音訳テープが出来ました。

#### ■音訳テープ文庫

- (a) (サロン・あべの)紙は、第1号より第282号までそろっています。
- (b) (サロン・あべの)十周年記念誌「はあとが、はろー！」
- (c) 絵本「未知の記憶」(作・絵 中川勝彦)
- (d) 「ラジオたんぱ」放送「(サロン・あべの)平成7年5月の出会い」放送分(30分)
- (e) エッセー集「逃げた『ヨナ』～ボランティア活動の周辺～」(岡本栄一著＝糸でんわ音訳)
- (f) 「キミたちだけじゃ困るんだ～身障者だけで旅した十余年～」(山田誠1995・2・22著＝糸でんわ音訳)
- (g) 「金子みすずへの旅」(島田陽子著＝糸でんわ音訳DJ)
- (h) 「夕やけ空のオニヤンマ」(牧口一二著＝糸でんわ音訳)
- (i) 「ガベちゃん先生の自立宣言」(曾我部教子著＝糸でんわ音訳)
- (j) 「セルフヘルプグループ」(岡知史著＝糸で

んわ音訳DJ)

- (k) 「名物 天王寺かぶら」(猿田博創作 難波利三監修＝大阪市立天王寺図書館制作)
  - (l) 「知らされない愛について」(岡知史著＝ばけつと音訳)
  - (m) 「愛 ひとり旅」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
  - (n) 「奥田真祐美のシャンソン手帳」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳DJ)
  - (o) 「もうちょっと知つとく? 私たちの阿倍野」(難波りんご著＝糸でんわ音訳DJ)
  - (p) 「猫とシャンソン」(奥田真祐美著＝糸でんわ音訳)
  - (q) 「ほんの少しの神に近い部分」(岡知史著＝糸でんわ音訳)
  - (r) 「勁くしずかに」(河野勝行編・著＝糸でんわ音訳)
  - (s) 「たまごが ポン！」(稲垣恵雄著＝糸でんわ音訳DJ)
  - (t) 阿倍野名所旧跡いろはがるた(猿田博＝糸でんわ音訳)
  - (u) 交わりのなかで ～ホームヘルパー残像～(加藤みどりさんを偲ぶ文章を作る会著＝糸でんわ音訳)
  - (v) 富田慶子出演の「ちょっといい話」(朝日放送05.6.26と05.9.18)の録音テープ
- ご希望の方には、ダビング、または貸し出しをしますので、富田(☎06・6691・1028)まで。音訳の後のDJ印はディジー録音。

## 美智子のこんな話

岸田美智子

市長費をとりましたあ！

住吉区アクションプラン高齢・障害者部会

大阪市地域福祉学習リーフレット等企画・作成公募に応募し、ブレゼンテーションで発表させてもらった結果、選考委員会で選ばれ、市長費をいただきましたあ！

選ばれた理由は、なんといっても当事者の発言がよかつたようです。地域福祉であるアクションプランは、学校訪問をするときに、つながりが作りやすいとのことでした。今後、3月までにリーフレットと、DVDを作っていくことになり、とつても忙しくなつてしまいましたあ！ DVDは、まだ案の段階ですが、アクションプランの紹介のDVD

と、高齢者の生活紹介のDVD、そして障害者の生活紹介のDVD、のなんと3本も作ろうという意見ができました。

障害者のDVDの案としては、

①げんき祭りなどの活動を通して街づくりの

点検などの活動紹介

②車いす住宅の紹介

③障害者と高齢者ボランティアさんとの関わり

りの様子

などができました。

以上の内容が中心になりそうですが、やはり、精神障害の方や知的障害の方にも参加していただきたいという思いがあるのですが、映像だけでは表しにくい問題や、小・中学生には伝わりにくいという課題があり、DVDの中でどのように紹介するのが課題として残っています。できる限り3障害（知的・身体・精神）の方を紹介していきたいと思っています。

リーフレットの中では、障害別の課題や、日中活動の場の紹介などを詳しく盛り込み、作成する予定です。そして、このDVDとリーフレットを使った授業の後、実際に地域

にでて障害者の方を訪問していくツールにしていききたいと、委員会では話し合っています。

さてどんなDVDやリーフレットができるのか、楽しみです。どうぞ期待！

.....  
「家族でアメリカ！ ケンタッキー州滞在記」はお休みです。

## 童謡絵はがき

■5枚1組 ¥180

ありがとうございます。

カンパ、バザー用品・お茶・お茶菓子のご寄贈、また、サングッズのお買い上げなどありがとうございます。

カスターネット、今西奈美子、岩本温子、岡賀寿子、神城昭子、小西京子、小嶺佐栄子、富田萬里子、長島伊津子、平岡太、松森美智子、道川内喜美子、宮崎徹朗、山元洋子、その他の方々（敬称略）



2月はどこのサロンの、  
どのテーマが  
お気に入りですか。  
いい出会いませんか。

■「サロン淀川」2月の出会い

日 時：2月21日(日)午後1時30分～4時  
内 容：いろいろな朗読のかたち パート6  
-「家族」をキーワードにアットホームな  
朗読会 一緒に楽しいひととき過しま  
せんか-

ゲ ス ト：淀川区朗読ボランティアグループ  
「こもれび」さん

「サロン淀川」は市民フォーラムおおさか09協働事  
業に参加しています。

会 費：なし

場 所：淀川区民センター「やすらぎ」  
大阪市淀川区三国本町2-14-3

問い合わせ先：淀川区社協(ボランティア・ビュ  
ロー) ☎06-6394-2900

■「サロン・にしよど」2月の出会い

日 時：2月27日(土)1時30分～3時30分  
内 容：未定

ゲ ス ト：未定

場 所：西淀川在宅サービスセンター「ふくいく」  
大阪市西淀川区千舟2-7-7

会 費：なし

問い合わせ・申し込み先：  
中本 ☎090-9864-9678

■「サロン「アイ」」2月の出会い

日 時：2月13日(土)午後1時30分～4時  
内 容：みえない私の不便さと工夫

ゲ ス ト：山野一美氏  
(生野区盲人福祉協議会・会長)

会 費：なし

場 所：生野区在宅サービスセンター

「おかちやま」2階ボランティアルーム  
大阪市生野区勝山北3-13-20

問い合わせ先：生野区社協(ボランティア・ビュ  
ロー) ☎06-6712-3101

○お知らせ：サロン「アイ」だよりの音訳テープが  
出来ます。ご希望の方は、西浦まで。  
☎06-6757-8574

■「サロン・にし」2月の出会い

日 時：2月13日(土)午後2時～4時

内 容：ヨガを楽しもう!

会 費：なし

問い合わせ先：宮脇淳 ☎090-3949-6973

■《てくてく・すみよし》2月の出会い

日 時：2月13日(土)時間は未定

内 容：新年会の予定

場 所：未定

問い合わせ先：

山本篤江 ☎06-6692-8411  
携帯090-5168-5977

■「サロン・つるみ」2月の出会い

日 時：2月7日(日)午後1時30分～4時

内 容：認知症サポーター養成講座

-認知症を学び、地域で支えよう-

ゲ ス ト：稲川喜代子さま(鶴見区社協)

場 所：鶴見区民センター3階

大阪市鶴見区横堤5-3-15

会 費：なし

問い合わせ先：鶴見区社協(ボランティア・ビュ  
ロー) 奥井 ☎06-6913-7070

■「サロンいたみ」2月の出会い

日 時：2月13日(土)午後2時～

内 容：春の歌声

ゲ ス ト：女性コーラスグループ

場 所：伸幸苑 伊丹市寺元6-150

会 費：なし

問い合わせ先：安藤れい子072-784-1718

晴れのち晴れ-136-

稲垣恵雄

■新年を迎えて

平成22年(2010年)の新しい年が明けた。毎年思うことだが、周囲の光景も家族の顔ぶれも少しも変わっていないのに、新年を迎えたというだけで新たな気分させられるから不思議である。

今年の干支は3番目の寅年である。ある書物によると、寅年の寅は東から北へ30度の方角で、また昔の時刻、今の午前4時頃を指す。そして寅年生まれの人には繊細な神経と義理人情の厚い親分気質であり、頼られるとどんな人にもイヤと言えない優しい心の持ち主だと言われている。

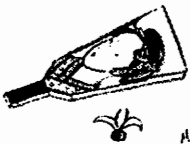
私は午(うま)年だが、寅年生まれの人を何人か知っている。確かに書物に書いてあるような性格の人も多いが、ゴウの寅と言われるように全く違った性格の人も見かける。

ところで「1年の計は元旦にあり」との古諺があるように私10年ぐらい前までは、毎年その年の目標や計画を立てていた。でも、いつのまにやら1年の計も立てずに、月日の流れるままにダラダラと過してきた。これではいけないということはよく分かっている。

今年も目標や計画は立てていないが、うれしいことがある。実は今年の3月に我が家から歩いて1分程のところに大型スーパーができるのである。現在は20分もかけて買い物に行っているのが時間がウンと短縮されるのでとても助かる。それに新しくできるスーパーは大型店だけに1カ所で何でもそろっていると思うので、それが何より魅力的でありがたい。



寄りみち



■童謡♪絵はがき・ひとめふため。中国に羽根を蹴る遊びがあり、これが室町時代に日本へ入ってきたのが羽根突きの始めとされています。羽子板で突く羽根に付いている黒い堅い玉は、「無患子」(むくろじ)という木の実です。読んでのごとく「子が患わ無い」という意味で、無病息災のお守りになった由来です。また、羽根突きの羽根の飛ぶさまが病気を運ぶ蚊を食べるトンボに似ることから、子が蚊に刺されないおまじないとして始められ、無病息災の意味につながったともいわれています。羽根突きの起源を「子が蚊に食われぬため」とするのは子への愛情が感じられ、なんともかわいらしい説です。(石)

<サロン・あべの>VOL. 283 発行：平成22(2010)年1月16日 定価¥100  
 編集人：<サロン・あべの>運営委員会 表題：中西利香・筆 文中イラスト：石田美禰子  
 事務局：〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町6-3-26 富田慶子方<サロン・あべの>  
 TEL・FAX 06-6691-1028 郵便振替口座：サロン・あべの 00950-9-26941  
 印刷：セルフ社 〒546-0044 東住吉区北田辺町4-23-2 ミスターDビル2F TEL06-6719-8212  
 ホームページ：<http://pweb.sophia.ac.jp/oka/salon/> 「サロン あべの」でも検索できます